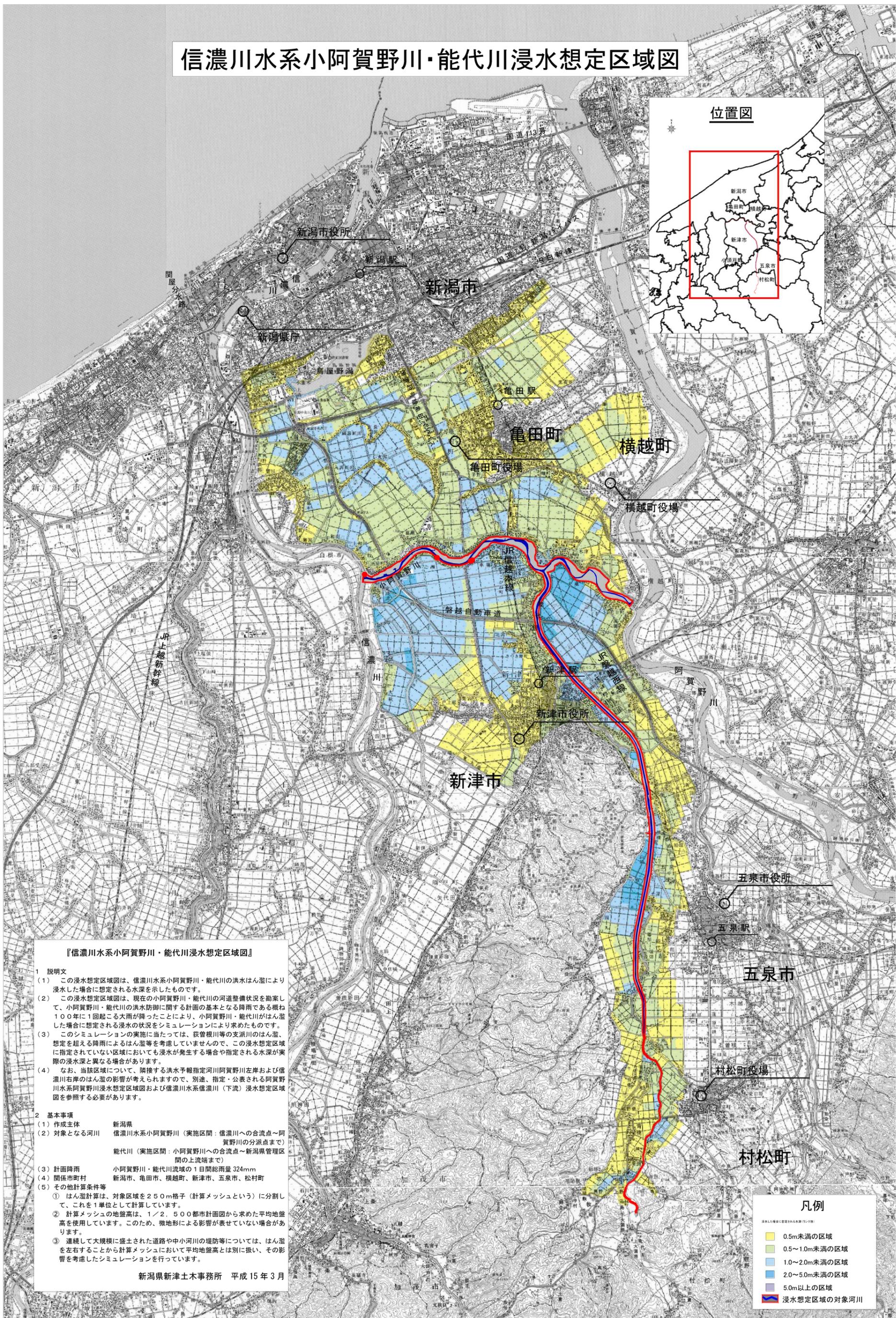


# 信濃川水系小阿賀野川・能代川浸水想定区域図

## 位置図



### 『信濃川水系小阿賀野川・能代川浸水想定区域図』

#### 1 説明文

- この浸水想定区域図は、信濃川水系小阿賀野川・能代川の洪水はん濫により浸水した場合に想定される水深を示したものです。
- この浸水想定区域図は、現在の小阿賀野川・能代川の河道整備状況を勘案して、小阿賀野川・能代川の洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね100年に1回起こる大雨が降ったことにより、小阿賀野川・能代川がはん濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
- このシミュレーションの実施に当たっては、荻原川等の支派川のはん濫、想定を超える降雨によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- なお、当該区域について、隣接する洪水予報指定河川阿賀野川左岸および信濃川右岸のはん濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表される阿賀野川水系阿賀野川浸水想定区域図および信濃川水系信濃川（下流）浸水想定区域図を参照する必要があります。

#### 2 基本事項

- 作成主体 新潟県
- 対象となる河川 信濃川水系小阿賀野川（実施区間：信濃川への合流点～阿賀野川への分派点まで）  
能代川（実施区間：小阿賀野川への合流点～新潟県管理区間の上流端まで）
- 計画降雨 小阿賀野川・能代川流域の1日間総雨量 324mm
- 関係市町村 新潟市、亀田市、横越町、新津市、五泉市、村松町
- その他計算条件等
  - はん濫計算は、対象区域を250m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。
  - 計算メッシュの地盤高は、1/2,500都市計画図から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
  - 連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、はん濫を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

新潟県新津土木事務所 平成15年3月

### 凡例

- 0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 2.0～5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域
- 浸水想定区域の対象河川

この地図は、国土地理院の承諾を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものです。  
(承認番号 平15年北複 第57号)